
負の惨劇

kai

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

負の惨劇

【Nコード】

N7269Z

【作者名】

k a i

【あらすじ】

ある日、ここ箱庭学園に転校して来た黒田くろた暗示あんじ。暗示は学園長に呼び出されてある依頼をされる・・・

ハジマリ(前書き)

皆さんおはようございます、こんにちは、こんばんは。どうもk a
iです。興味本位で書いてみました。少し短いですがご了承くださ
い

ハジマリ

主人公になれるのかどうか分からない人

黒田暗示くろだあんじ

今までの人生で人と話した事がないくらいーいやつ

暗示 side

ようし・・・どう自分を紹介するのか分からないんでここは少年漫画みたいな感じで紹介するか

よっ、オレの名前は黒田暗示だ。ひよんな事からここ箱庭学園に入学することになった。

それにしてもよく入れたな〜オレは学力全然ないのに受かったからな〜まあいいやオレは今度こそ友達を作るぞ！！

とまあこんな感じかな？自己紹介も終わったし、じゃあ行くかちなみにオレのクラスは1年マイナス13組だ。

オレは、まず学園長さんにアイサツしに行ったなぜ学園長の所に行くかって？

それはね、オレにも分からないさまあ、とりあえず部屋の前に来た

オレは、周りに誰もいないことを確認するとドアをノックし

「失礼します」

そう言っ中に入ってみると

不知火袴しちぬいはかまと安心院あんしんいんさんがいた

え？何で知ってるかって？

それはね、オレのスキル パラレルズノウ 異世界知というのがあってね

オレは、別の世界に行くことができて知らない人の情報をデータとして脳に記憶してるんだよ

「そこに座ってください」

オレは、イスに座って笑顔で言った

「何だよ老人二人がオレに用って」

「おいおい老人とは言ってくれるね」

安心院さんがうすら笑いを浮かべて言った
いつ見ても何考えてるのか分からない人だ
その時、袴がオレにこう言った

「君を呼んだのは他にもありません・・・黒神めだかを生徒会長の座から引きずり下ろして欲しいのです」

企画

何考えているんだ、このジジイは

「つまりオレを、悪役にしたい訳か・・・」

「そういうことです」

「え〜オレ絶対負けませよ」

「何言ってるんだよ、君の異世界知パラレルズノウがあれば相手の弱点なんて簡単に分かるだろ」

「いや〜このスキルは、情報を手に入れる力で戦闘向きじゃないんですよ」

「大丈夫、君は他にもスキルを所持しているということは知ってるから」

「な・・・何の事ですか〜?」

「しらばっくれるなよ、君のことは学園長から全て聞いてる」
隠しても無駄みたいだな

「はいはい、分かりました」

「では、教室に戻ってください」

オレは、笑顔でこう言った

「はい、あっ、それと部屋に生徒入れるのやめてくれませんか？ さっきからうっとうしくて仕方なかつたんです」

オレは、そう言つと部屋から出ていった

袴 side

あの少年・・・気づいていましたか・・・
まあこれは、予想の範囲内のことです
もしも、これが分からないのであれば、彼はめだかさんに本当に勝
てないでしょう

「不知火君、本当に彼でいいんだね？」

「はい、彼ならやり遂げられるでしょう」

「毎度思うんだが、その自信はどこから湧いてくるんだね？」

「それは、年寄りの感です」

「そうか」

安心院さんは微笑みを浮かべながらおっしゃいました

暗示 side

オレは今、どこにいると思う？

そう！オレは今、教室の前にいる

とうとうこの時が来たぜ

ヤ・・・ヤバいよこれ、緊張してきた！

なぐんてね、そんなお約束なパターンはもうとっくの昔にやっている
オレは、勢いよくドアを開け

「おはよう皆さん、転校して来た黒田暗示だよ、よろしくね！！」

その瞬間、釘バットがオレの頭上から振り下ろされた

オレは、一歩後ろに戻り、避けた

「おいおい、健全な高校生に危ない物向けるなよ」

「なっなぜ避けられた？」

「オレは、前に一度、お前の釘バットで殴られてるから知ってるんだよ」

「何言ってるんだ？お前とは、初対面のはずだが・・・」

「オレの、パラレルズノウ異世界知で別の世界でお前と会ってるんだよ」

「くっ！」

ここは、おもしろいそうなヤツらがいっぱいだな
ここでなら、いっぱい友達が出来るぞ〜

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7269z/>

負の惨劇

2011年12月24日10時45分発行